

講義名	中国語 A		
担当教員	森 宏子		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限	授業形態	講義
履修開始年次	1年生	単位数	2

主題と概要			
<p>この授業では中国語の基礎を学びます。中国語はよく「発音よければ半ばよし」と言われます。発音が会といっても通音ではありません。中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、聞き取れ、ピンイン（中国語音のローマ字表記）がきちんと読めることです。私たちが日本人にとって中国語学習は、漢字を理解することが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見るとなんとなく中国語を理解した気分になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようにしたいものです。テキストでは基本的に活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、けっこう使える言い回しを学ぶことができます。本学には中国からの留学生がたくさん在籍しており、中国語がいつでも使える恵まれた環境にあります。学んだ中国語をどんどん使って、留学生と積極的に交流してほしいと思います。</p> <p>中国語Aと中国語Bは、どちらも同じレベルの授業（入門クラス）です。どちらを履修してもかまいません。</p>			

到達目標			
<p>1. 中国語学習を進めていく上での基礎的知識（発音、ピンイン表記）を身につける 2. 平易な中国語を読み、音節や状況に応じた応答ができるようになる 3. 平易な文の意味を理解でき、書くことができるようになる</p> <p>中国語検定試験のレベルを目安とすると、準4級～4級レベルの中国語に相当します。検定試験準4級から4級にチャレンジできる力をつけます。</p> <p>本科目は対面を原則とする科目です。オンデマンドでの受講では、到達目標を達成するのが難しい科目であるため、オンデマンドでは開講しません。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者や、濃厚接触者に指定され一時的に通学が禁止となった学生には、別途個別に対応します。</p>			
提出課題			
とくに課題は予定していません。			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
出原確認を兼ねて小テストを行うことがあります。小テストは返却しませんが、次回の授業で講評します。中間試験は返却した上で、講評します。			
評価の基準			
<p>次の点を総合的に判断します 平常点（出席状況、受講態度） 20％ 中間試験と期末試験 80％</p>			

履修にあたっての注意・助言他			
受講者は必ずテキストを購入し、授業に臨んでください。			

教科書				
.はじめよう楽々中国語 .	白水社	小林和代・韓軍	2200+税	978-4-560-06938-7

プリント資料及び参考文献				
必要に応じて配布します。				

授業計画				
<p>1. ガイダンスおよび 第1課 発音練習 声調・母音 2. 第2課 子音・複合母音・鼻母音 3. 第3課 向月向日？/何時？ 4. 第4課 お名前は？/どちらの大学？ 5. 第5課 たね？なに？/これは-です 6. 第6課 いる/ある 7. 第5課～第6課のまとめ 8. 中間試験 9. 第7課 どこにいる？/AそれともB？ 10. 第8課 どれくらいかかる？/～するのが好きです 11. 第9課 いくくら？/Aははよりも-です 12. 第10課 -したい/どこで？ 13. 第11課 -できる？/～していい？ 14. 第12課 -している/～したことがある 15. 第7課～第12課のまとめ</p> <p>授業の進度は、受講生の習熟度に応じて調整します。</p>				

授業形態（アクティブ・ラーニング）				
○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ	反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ	グループワーク	
	オ：プレゼンテーション	カ	実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>【予習】 新しい課に入る時は、事前に単語帳（ワークシート）を配布します。単語帳を自宅で完成させてください。次の授業で学ぶところに目を通し、分かることと分からないところを、明確にしておいてください。テキスト付属のCDを聞き、ピンインと実際の音を聞き比べてください。可能であれば、録音を音読してみる。（以上、2時間程度）</p> <p>【復習】 授業で学んだところを自宅でもう一度「振り返り」を行ってください。ドリルなどの宿題をします。今学んだポイントの定着を図ります。課文のピンインを手書きし、ピンインを音で聞きます。テキスト付属のCDを聞きながら、課文を読み直す（シャドーイング）。</p>				

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
中国語の4技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を習得するとともに、中国の社会や文化について理解する資質・能力を身につける。				

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				

実務経験の有無及び活用				

備考				